

【評価実施概要】

事業所番号	171000565		
法人名	医療法人社団 豊生会		
事業所名	グループホーム すぎの子の郷		
所在地	〒061-0232 石狩郡当別町春日町97-1 (電話) 0133-25-2801		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構K-ネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目 愛生館ビル601B		
訪問調査日	2010年1月19日	評価確定日	2010年1月29日

【情報提供票より】(2009年10月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 7 年 1 2 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 0.6 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円	
敷 金	有 (1 3 5 , 0 0 0 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (1 0 月 1 5 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護 1	1 名	要介護 2	2 名			
要介護 3	1 名	要介護 4	3 名			
要介護 5	2 名	要支援 2				
年齢	平均	80.1 歳	最低	62 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東苗穂病院・とうべつ整形外科・北海道医療大学歯科内科クリニック
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは自然豊かな環境に建てられ、建物の1階部分は通所施設と訪問介護施設などがあり、2階部分がグループホームである。ホームは全体に明るく、廊下、居間や居室はゆったりとした造りになっている。近隣には駅や商店街があり利便性は良い。法人は職員の研修体制を充実させ、職員は専門性の向上に努め、更なるサービスの質の向上を目指し、日々利用者本位のケア、個別対応の充実を図っている。家族の訪問も多く、家族との交流や地域との交流は積極的に行なわれ、地域に根つき大切なホームになりつつある。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価において、改善課題は挙げられていません。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員は外部評価、自己評価の意義と評価の重要性を理解している。自己評価は全職員で取り組み、毎月の会議で検討することで、支援のあり方の見直し、職員の意識とサービスの質の向上へと向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、家族や地域のメンバーにより構成され、定期的開催されている。会議ではホームでの活動報告、利用者の状況、運営上の問題や今後の取り組みについて、活発な意見交換されている。運営推進会議で検討された議題は、サービスの質の向上や運営に活かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月「さとだより」を発行し、日々の生活、行事予定、職員の異動などを伝えている。家族の訪問は多く、訪問時に意見や苦情が話しやすいような雰囲気にし、玄関には意見箱を設置している。家族会も結成され、家族会の活動や運営推進会議での家族の意見は、これからのホーム運営に活かされる。
重点項目	日常における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、お祭りや清掃活動など地域の行事には積極的に参加している。町内会の回覧板を利用して、地域の方への理解を得ている。地域の保育園や学校からの訪問や、ボランティアの訪問を受けるなど、地域との交流は盛んである。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり、一緒に、楽しく、豊かに、家族と共に、地域と共に！」をホームの理念とし、職員全員が日々理念に沿ったケアに取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示してある。全職員はネームプレートと共に理念を携帯し、常に理念を話し合い確認しながら、より良いケアの実践に向け日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入。年3回ホームから地域へ回覧板を利用し情報を発信している。町内で行われる行事に参加したり、町内のオープンサロンからの誘いを受けたり、地域の保育所・小学校の訪問を受ける等、地域との交流は盛んである。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者はサービス評価の意義や目的を全職員に伝え、前回の外部評価を踏まえ、自己評価に全職員で取り組み、サービスの質の向上に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、家族や地域のメンバーにより構成され、定期的開催されている。ホームからは利用者の状況、活動報告などを行い、参加者から意見や助言を得て、サービス向上に活かすよう取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政の担当者とは、様々な機会を利用して相談、意見交換、情報交換等が積極的に行える関係である。また、町が主催する研修会に参加、介護予防の講習会を受託するなど、常に町と共にサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「さとだより」を発行し、行事やホームでの暮らしぶりを伝えている。金銭管理については、家族の訪問時に出納帳を見せ確認印をもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時に、苦情及び相談窓口、第三者機関への苦情申し立て方法の説明と確認を行っている。家族の訪問時、運営推進会議の中で家族の意見を聞く機会を作り、サービスの質の向上に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は最小限となるよう配慮し、新たな信頼関係を築くまで馴染みの職員と対応する等、利用者への影響をできるだけ少なくするための取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の勉強会や年間計画を立て研修を行っている。外部研修においては、各職員の立場や経験、希望に応じ多くの職員が研修に参加できるようにしている。また、研修終了後は報告の場があり、資料と共に全職員が閲覧できるようにしている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に参加し、他のグループホームの見学を通じ、意見交換、情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に、本人や家族から希望や要望を聞き、ホームの雰囲気馴染めるように事前の見学、日中共に過ごす時間を設ける等、安心感を持って入居できるようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者一人ひとりの立場に立ち、利用者の個性や力が発揮できるような場面を多く持てるよう工夫し、声かけに配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の係わりの中で、会話、表情や行動等から意向を汲み取り、利用者の変化や問題点を話し合う。また、家族等からの情報を得て、その人らしい生活が送れるよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が自分らしく暮らせるよう、本人・家族等の思いや意見を聞きケアに反映させている。毎月の会議で職員の意見交換やモニタリング、カンファレンスも行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しのほか、利用者の状況の変化や、家族・本人の要望に応じ主治医や関係者との話し合いで、随時介護計画の見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じ、病院への受診や送迎を行っている。その時々々の要望に応え買い物や温泉等個別の対応も行っている。また、併設のデイサービスの利用や行事への参加も行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の受診や通院は、本人や家族の希望に応じて対応している。定期的に歯科の訪問診療を受けている。日常においては看護師による健康管理が毎日行われ、必要に応じていつでも適切な医療を受けられる体制となっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在まで終末期の事例は無い。終末期のあり方については、家族等と話し合い事業所が対応しえる最善のケアに取り組めるよう、全職員が方針を確認、共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日々の係わりにおいて、言葉かけや対応には利用者の誇りやプライバシーを損なわないよう配慮している。個人情報に関する記録や、写真の掲載などは本人や家族の同意を得るなど、慎重に行っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は、買い物や散歩など一人ひとりの状況や思いを尊重し、その人らしい一日を送れるよう配慮しながら柔軟な対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の献立を、利用者と買い物をしながら決めたり、調理の下ごしらえ、盛り付け、後片付けなど一人ひとりの力が発揮でき、楽しく食事ができるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じ、入浴日や時間は自由に決めることができる。入浴を拒む方には、入浴剤の工夫や声かけの工夫で、入浴が出来るよう支援している。また、日帰り温泉に出かけ入浴を楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	金魚の世話、買い物、調理を楽しむ等、利用者の趣味や得意なことを把握し、一人ひとりの力を活かせる場を多く持ち柔軟な支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の買い物、散歩のほか、JRでデパートへ買い物、温泉旅行を楽しむなど、利用者の体調、希望に合わせて外出の機会をつくり支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者はリビングに集まることが多く、職員は安全面に配慮した見守り支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルや連絡網を作成し、年に2回利用者参加で避難訓練を行っている。地域やサービスの協力体制もある。消防署の協力を得て蘇生術の研修なども行っている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分の摂取量を記録し、利用者の状況に応じて、刻み食やお粥食など一人ひとりに合わせた支援を行っている。管理栄養士の専門的アドバイスを受ける体制にある。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングは明るくソファや椅子が設置され、対面式のキッチンが利用者がいつでも家事を手伝うことができ、キッチンから聞こえる音や香りは生活感があり、居心地の良い家庭的な雰囲気である。トイレ・洗面所・浴室は利用者が使いやすいよう配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や利用者の生活に合わせた調度品が配置され、居心地の良い生活が送れるよう工夫されている。</p>		

 は、重点項目。